



開設63周年 善知鳥杯争奪戦 みちのく記念競輪GIII

選手直前インタビュー SPECIAL INTERVIEW REPORT

佐藤 友和 [岩手・88期]

箱田 優樹 [青森・98期]

落車による怪我で前半戦は苦しんだ佐藤だが、夏に入ると気温の上昇とともに調子も良化している。「狙っていた」とサマーナイトフェスティバルを見事優勝。これで勢いに乗り、後半戦で一気に反撃に出る。

「夏場は身体が動くし、練習がしっかりできるので。毎年、この時期は調子が上がっています。高知(記念)はタイムも出でた(初日13秒3)し、ずっと体調が良いですね。ここ最近は賞金ランクで離れていたけど、サマーナイトを優勝できて、また次のステップにいける。今後は余裕を持っていけると思います」

9月はオールスター、地元記念と大事な開催が続くだけに、いっそう力が入る。地元、青森記念は2010年に優勝すると、一昨年は準優勝、昨年は決勝3着で表彰台入りと成績は抜群。今年も大いに活躍が期待できそうだ。

「地元はお客様の声援も多いし、気持ちも揚がりますね。バンクは走り易いです。調子はずっと良いので、このままいけば良い状態で地元記念に入れると思います」

6月の小田原GIIIで3勝を挙げ、通算100勝を達成。その後はしばらく足踏みが続いていたが、8月松戸記念では一次予選で敗れるも、6①③①着とシリーズを通して2勝。逃げの決まり手を付けての2勝にも、勝ち上がりを逸しているだけ表情は陥しかった。

「最近は予選を突破出来ないことが多いです。成績に波があるのが良くないです。原因は分かっているつもり。地元記念までにまだレースがあるし、一つずつ大事に走りたい」

戦法に関しては強いこだわりを持っている。「色々な走り方を考えると迷いが生まれてしまう。今は戦法をひとつに絞って、そこに拘ります。脚力と自信を付けるには先行しかないと感じています」

自らの弱点を「気持ちの弱さ」と分析する箱田。戦法を絞り、こだわることで、精神面でも成長を計っているようだ。

「S級に上がったのが今年の1月なので、地元の記念は始めて。地元の時は色んな人が応援してくれる。ここまでに、一つでも成長出来るように頑張りたいですね」



金子貴志(愛知・75期)

深谷知広(愛知・96期)

佐藤友和(岩手・88期)



開設63周年 善知鳥杯争奪戦 みちのく記念競輪 GIII 展望

最強師弟コンビVS地元勢

開設63周年・みちのく記念競輪「善知鳥杯争奪戦(GIII)」が、9月28日からの4日間、「縄文バンク」を舞台に繰り広げられる。地元地区の佐藤友和をはじめ深谷知広、長塚智広、新田祐大などスターたちが、青森競輪場を熱くする。

最強の師弟コンビ、金子貴志、深谷知広がそろい踏み。地元地区の佐藤友和、近況の充実ぶりが自覚しい新田祐大に佐藤慎太郎、佐藤康紀と北日本勢も、た、長塚智広、岡田征陽のSS班2人を擁する関東勢も他地区中心には7月の寛仁親王牌で、ワンツーを完結させた深谷、金子のいる中部勢。8月の富山記念を走り終えた段階で、深谷が今年挙げた勝ち星31はトップタイ(8月25日現在)。G戦線と全プロ記念という界のトップが集まるこれ以上ないステージで、挙げた白星の価値は高い。勝利度数に比例せず優勝がわずか1回というのはさびしいが、ダービーをはじめG-Iで3度の準V。共同通信社杯を含めればビッグで4度の準Vは、深谷包囲網が強化される中で驚くべき

数字だ。寛仁親王牌のあとも、豊橋記念では3度連続した金子をすべて勝利に導く庄巻の機動パワーを披露。サマーナイトF、富山記念でも順調に勝ち星を積み重ね、随所でファンの度肝を抜く走りを見せていた。昨年に続き2度目の当所記念参戦なら割り引き材料もない。怪童バーチで別線を沈黙させ、再び金子との上位独占を果たそう。

寛仁親王牌で念願の戴冠を遂げた金子が、深谷とのタッグで先行しかないと感じています」

Fを⑥③着、岐阜F-Iを⑧①⑥着。小休止はしたもののSS班の来年を見据え、深谷のハコはV。タイトルホルダーの名に恥じぬ戦績を残した。その後は疲れもあったのか、サマーナイトFを⑥③着、岐阜F-Iを⑧①⑥着。小休止はしたものSS班の来年を見据え、深谷のハコは

一戦、一戦を結果として結実させたい。まずは深谷の番手を守って、ゴール勝負で逆転を目指す。

強豪を迎える北日本勢の軸はSS班の佐藤友和。ここ3年は当所記念ですべて優出し、決勝での成績も1、2、3着。10年

にV奪取をしてからも、毎年接続して今年初のビッグ制覇。夏場に調子を上げてくる佐藤友和で楽しみな地元シリーズ。北日本

の結束力を高め、他地区を破しよう。新田は2度の記念優勝を含めて今年8Vと充実の一途。五輪での経験や競技で培った卓越したスピードは、別線にとっては脅威だ。佐藤友との連係で強力な布陣ができるが、確かに、さらに上積みも望めそうだ。そこで今年初のビッグ制覇となり、今まで今年初のビッグ制覇で今年初のビッグ制覇。北日本勢の軸は佐藤友和。ここ3年は当所記念ですべて優出し、決勝での成績も1、2、3着。10年

にV奪取をしてからも、毎年接続して今年初のビッグ制覇。夏場に調子を上げてくる佐藤友和で楽しみな地元シリーズ。北日本

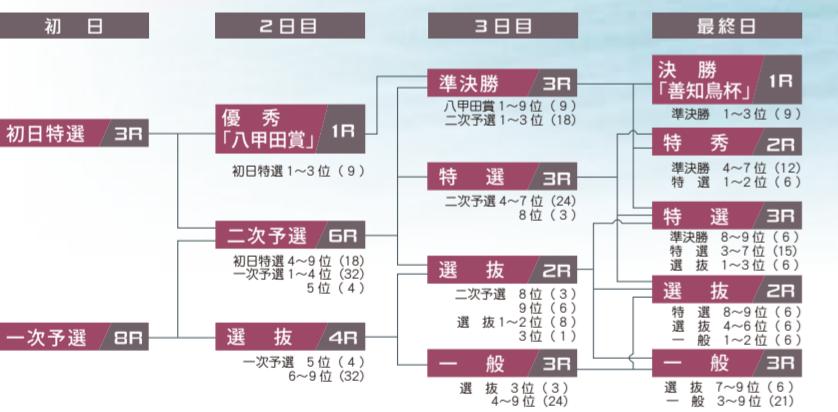
の結束力を高め、他地区を破しよう。新田は2度の記念優勝を含めて今年8Vと充実の一途。五輪での経験や競技で培った卓越したスピードは、別線にとっては脅威だ。佐藤友との連係で強力な布陣ができるが、確かに、さらに上積みも望めそうだ。そこで今年初のビッグ制覇となり、今まで今年初のビッグ制覇。北日本勢の軸は佐藤友和。ここ3年は当所記念ですべて優出し、決勝での成績も1、2、3着。10年

にV奪取をしてからも、毎年接続して今年初のビッグ制覇。夏場に調子を上げてくる佐藤友和で楽しみな地元シリーズ。北日本

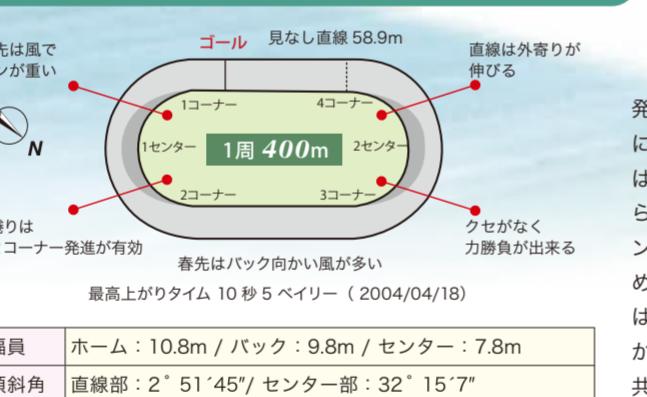
の結束力を高め、他地区を破しよう。新田は2度の記念優勝を含めて今年8Vと充実の一途。五輪での経験や競技で培った卓越したスピードは、別線にとっては脅威だ。佐藤友との連係で強力な布陣ができるが、確かに、さらに上積みも望めそうだ。そこで今年初のビッグ制覇となり、今まで今年初のビッグ制覇。北日本勢の軸は佐藤友和。ここ3年は当所記念ですべて優出し、決勝での成績も1、2、3着。10年

にV奪取をしてからも、毎年接続して今年初のビッグ制覇。夏場に調子を上げてくる佐藤友和で楽しみな地元シリーズ。北日本

概定番組表 RACE PROGRAM



青森バンクガイド BANK GUIDE



BANK GUIDE

クセが無く、どんな戦法でも力を発揮しやすい。全体的に重い中で、特にインが重い。カントがつき、競りはアウトでも耐えられ、直線は中から外寄りコースが伸びる。先制ラインの番手有利だが、三番手は内を締めれば伸びを欠くケースも。風の向きは時間によって変化し、捲りは二角からか、三角からの仕掛けが後続と共に山おろし効いて伸びを増す。

一戦、一戦を結果として結実させたい。まずは深谷の番手を守って、ゴール勝負で逆転を目指す。

強豪を迎える北日本勢の軸はSS班の佐藤友和。ここ3年は当所記念ですべて優出し、決勝での成績も1、2、3着。10年

にV奪取をしてからも、毎年接続して今年初のビッグ制覇。夏場に調子を上げてくる佐藤友和で楽しみな地元シリーズ。北日本

の結束力を高め、他地区を破しよう。新田は2度の記念優勝を含めて今年8Vと充実の一途。五輪での経験や競技で培った卓越したスピードは、別線にとっては脅威だ。佐藤友との連係で強力な布陣ができるが、確かに、さらに上積みも望めそうだ。そこで今年初のビッグ制覇となり、今まで今年初のビッグ制覇。北日本勢の軸は佐藤友和。ここ3年は当所記念ですべて優出し、決勝での成績も1、2、3着。10年

にV奪取をしてからも、毎年接続して今年初のビッグ制覇。夏場に調子を上げてくる佐藤友和で楽しみな地元シリーズ。北日本

の結束力を高め、他地区を破しよう。新田は2度の記念優勝を含めて今年8Vと充実の一途。五輪での経験や競技で培った卓越したスピードは、別線にとっては脅威だ。佐藤友との連係で強力な布陣ができるが、確かに、さらに上積みも望めそうだ。そこで今年初のビッグ制覇となり、今まで今年初のビッグ制覇。北日本勢の軸は佐藤友和。ここ3年は当所記念ですべて優出し、決勝での成績も1、2、3着。10年

にV奪取をしてからも、毎年接続して今年初のビッグ制覇。夏場に調子を上げてくる佐藤友和で楽しみな地元シリーズ。北日本

の結束力を高め、他地区を破しよう。新田は2度の記念優勝を含めて今年8Vと充実の一途。五輪での経験や競技で培った卓越したスピードは、別線にとっては脅威だ。佐藤友との連係で強力な布陣ができるが、確かに、さらに上積みも望めそうだ。そこで今年初のビッグ制覇となり、今まで今年初のビッグ制覇。北日本勢の軸は佐藤友和。ここ3年は当所記念ですべて優出し、決勝での成績も1、2、3着。10年

箱田 優樹 [青森・98期]

坂本 貴史 [青森・94期]

高橋 陽介 [青森・89期]

高谷 雅彦 [青森・67期]

坂本 亮馬 [福岡・90期]

高田 征陽 [東京・85期]

佐藤慎太郎 [茨城・78期]

長塚智広 [茨城・81期]

新田 祐大 [福島・90期]

高橋 雅彦 [青森・67期]

開設63周年 善知鳥杯争奪戦 みちのく記念競輪 GIII 2013.9/28~10/1

出場予定選手データ

データは2013年8月22日現在のものです。

級	姓	登録地	期	直近4ヶ月	10場所勝利度数	10場所連闘	過去3年間所持勝利度数	直近4ヶ月	10場所勝利度数	10場所連闘	過去3年間所持勝利度数	
班				走得点	1着	2着	3着	勝外	走得点	1着	2着	3着
SS	長塚智広	茨城	81期	114,461	7	5	17	1	0	1	9	24
	岡田征陽	東京	85期	112,400	5	8	16	0	1	0	8	4
	佐藤友和	岩手	88期	114,419	16	1	3	13	3	2	15	0
	深谷知広	愛知	96期	115,678	14	9	13	10	8	12	13	0
	金田健一郎	大阪	60期	98,280	1	1	2	28	0	0	1	0
	中谷涉	福岡	64期	103,533	1	3	24	0	0	1	3	0
	稻村成浩	群馬	69期	109,606	5	4	6	18	0	0	7	2
	佐藤慎太郎	福岡	73期	108,640	3	8	15	0	0	1	7	3
	金子貴志	静岡	75期	115,037	11	7	3	13	4	7	6	1
	香川俊介	香川	76期	109,636	0	5	10	18	0	0	3	2
	村木大輔	静岡	77期	105,590	1	2	15	0	0	1	2	0
	佐藤慎太郎	福島	78期	111,586	2	12	0	15	0	0	5	9
	小林大介	群馬	79期	105,133	1	6	2	17	1	0	2	5
	諸橋愛	新潟	79期	110,000	6	5	16	0	0	8	3	1
	中村健士	千葉	79期	109,088	4	3	7	15	0	0	6	1
	萩原克之	静岡	80期	106,875	7	4	16	0	0	1	6	4
	前田祐一郎	広島	81期	103,652	3	3	6	14	0	0	2	3
	高橋謙介	青森	81期	105,821	6	4	3	18	14	5	2	1
	新田英司	福島	90期	116,960	15	8	1	11	7	15	1	0
	朝倉弘	東京	90期	100,923	1	1	4	21				